

2025年 第62号
とことん面倒見のよい学校
中央カレッジグループ

学園新聞

中央カレッジグループ学園新聞編集委員会 <http://www.chuo.ac.jp>

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-49-1 TEL.027-253-1105(代) FAX.027-253-1124



中央情報経理専門学校
群馬法科ビジネス専門学校
中央医療歯科専門学校太田校
専門学校 中央農業大学校
専門学校 中央情報大学校
高崎ビューティモード専門学校
中央動物看護専門学校
中央医療歯科専門学校高崎校
中央スポーツ医療専門学校
中央高等専修学校
(クラーク記念国際高校連携校)

CRI 中央外語学院
資格の学校 TAC群馬校

中央カレッジグループは2026年度、傘下の各校で新しい学科を次々と開設します。情報技術や医療、農業、美容、エンターテインメントといった多様な分野で、地域産業のニーズに応える専門人材の育成を目指します。

'26
年度

新学科続々

ゲーム

アグリ・フードテック

DX美容

声優

多様な専門人材を育成

高崎市の中央情報大学校では、ゲーム業界の成長に対応した「ゲームクリエイター学科」を新設します。プログラミングやCGデザイン、シナリオ制

作など、ゲーム開発に必要な幅広いスキルを学べるカリキュラムが特徴です。さらに、アニメやゲーム分野で求められる声優を養成するアカデミーを

来年4月、同大学校の施設内に開校します。発声や演技、アフレコなど、実践的な訓練を取り入れる予定です。

同校ではまた、食と農業のデジタル化に対応する「アグリ・フードテック学科」も開設します。スマート農業や食品ロス対策、食品データサイエンスなどを学び、次世代のフードテック人材を育てます。

美容分野では、高崎ビューティモード専門学校が「DXビューティ通信学科」をスタートします。オンライン学習と対面実習を組み合わせることで、美容業界でのデジタル技術活用のニーズに応えます。

前橋市の中央情報経理専門学校の「医療情報マネジメント学科」は医療事務や電子カルテ管理、医療データ分析など、医療現場のDX化に必要なスキルを習得できる内容です。

CBT試験会場の増床、 接骨院稼働も

施設の整備も進めています。グループは資格や検定の試験を受けられる同市のCBTセンターを増床し、受験環境をさらに充実させる予定です。また、同市の中央スポーツ医療専門学校では付設の接骨院が本格稼働します。学生の実践教育の場としてだけでなく、地域住民の健康支援にも活用する計画です。

グループを運営する学校法人有坂中央学園の中島慎太郎理事長は「社会や産業の変化に柔軟に対応し、地域に貢献できる人材を育てていきたい」と話しており、今後も時代のニーズに応じた教育展開を進めていく方針です。

1500人が熱戦 青チームが優勝

第6回スポーツフェスティバル



盛り上がった大玉送り

高崎アリーナで開催、 11競技で得点競う

第6回CHUOスポーツフェスティバルが5月16日、高崎市の高崎アリーナで開催されました。グループ各校からおおよそ1500人の学生が参加し、8つのチームに分かれて11種目の競技で得点を競い合いました。

参加者は赤や青、緑などの鉢巻きを身につけてチームカラーを表現。競技場内は色とりどりの鉢巻きが躍動し、熱気と歓声に包まれました。

競技は、直線50mのスピードを競う「徒競走」や、4人一組で棒を持って走る「台風の目」、チーム全員でタイミングを合わせる「大縄跳び」など、連携力と体力を要する内容となりました。両手で頭上に掲げた大玉を後方へとリレーする「大玉送り」では、玉が列から大きく転がり出る場面もあり、会場から盛んに声援が送られました。

ほかにも「ドッジボール」「玉入れ」「綱引き」など多彩な種目が実施され、学生たちは全力で走り、ボールを投げ、得点のたびに歓声が上がりました。競



声援を受けて力を振り絞る綱引きの参加者

技に敗れ、悔し涙を流す学生の姿もあり、各チームの本気度がうかがえました。

競技の結果、中央スポーツ医療専門学校を中心とする青チームが総合優勝を飾りました。安定した成績とチームワークが光り、着実にポイントを重ねたことが勝因となりました。

参加者からは「ふだん関わりの少ない仲間とも協力できた」「全力を出し切れて悔いはない」といった声が聞かれ、スポーツを通じて交流と一体感を深める機会となりました。

スポーツフェスティバルは、学生たちにとって体力や技術の向上のみならず、仲間との連帯感や挑戦する楽しさを学ぶ貴重な場となっています。



学園新聞をご覧いただき、ありがとうございます。今号から理事長として寄稿させていただくことになりました。タイトルカットには「止まり木」を選びました。かわせみが羽を休め、次の飛翔に備える姿に重ねながら、読んでくださる方にほっと一息つける時間に

挑戦を糧に未来を拓く

なればと願っています。

ご存じのとおり、本学園の校章にはかわせみが描かれています。清流に生き、澄んだ流れを見つめ、勇気をもって飛び込むその姿は、未来に挑む学生たちを象徴しています。学園が大切にしている「高度な専門性」「豊かな人間性」「創造的な協働力」という教育目標も、この姿と重なります。

ここで改めてご紹介したいのがCCEL (Chuo Competence Empowerments of Life) です。これは本学園が定める18の能力を体系

化した枠組みで、礼節、主体性、協働力など、社会で生きていくうえで欠かせない力を具体的に示しています。授業や学校行事を通して、学生が自然に身につけられるよう工夫されており、学園生活の指針ともいえるものです。

AIやデジタルが急速に広がる今だからこそ、人間らしい感性や思いやりが大切です。知識や技術だけでなく、仲間と協力し合い、支え合う力こそが、これからの社会を切り拓く原動力になると信じています。

本学園のモットーは「やって・みて・考える 失敗

から学ぶ」です。失敗を恐れず挑戦し、そこから学ぶ経験は、必ず自分の力になります。まさに「失敗は成功の母」です。ぜひ多くの挑戦を通じて、自分の可能性を広げてください。

本学園は1942年の創立以来、こうした理念を軸に83年間、地域とともに歩んできました。これからも止まり木のように皆さんを支えつつ、一緒に未来へ羽ばたく、そんな存在でありたいと思っています。

(学校法人有坂中央学園理事長

中島慎太郎)

新入生インタビュー

中央情報経理専門学校

保育福祉学科保育士・幼稚園教諭専攻

磯田りりあさん
(桐生清桜高校出身)



人との出会いが成長の力

「この学校に来て本当に良かったです」と明るく語る磯田さん。高校2年生で参加した学校説明会で、先生方の親しみやすさや楽しい雰囲気に魅力を感じ、進学を決めました。入学後も印象は変わらず、「先生は優しく話しや

すく、大切なことはしっかり伝えてくれます。できたことを褒めてもらえるのもうれしく、やりがいを感じながら毎日が楽しいです」と笑顔で話します。

実習はもちろん座学も面白く、特に社会福祉の授業は家族を巻き込んで学び、満点を取ることもありました。こうした努力の積み重ねが、自信とやる気につながっています。オープンキャンパスの学生スタッフやボランティアにも積極的に参加。「さまざまな人と関わる経験が、将来きっと役立つと思います」と話し、子どもや保護者、地域から信頼される保育士を目指して、明るく元気に日々努力を続けています。

中央情報大学校

高度 ICT デザイン学科

黒崎 遼人さん
(浜川工業高校出身)



内定率の安心感が決め手

幼いころからパソコンに興味を持ち、工業高校の情報科に進学。情報分野をさらに深く学ぼうと中央情報大学校に進学しました。「大学だと情報以外の科目も多いですが、ここは情報に集中できる。それに業界内定率100%という安心感も決め手になりました」

と話します。

授業は専門的で忙しい毎日。「先生やゼミの仲間がみんな優しく、分からないところは一緒に教え合える」と笑います。仲間と励まし合いながら資格を目指し、学ぶ大変さと楽しさを感じています。温かい学びの環境が、日々の努力を支えています。

今後の目標については「まずは基本情報技術者試験に合格し、その後は行事参加などにも積極的に関わりたいです」と意欲を語ります。勉強と学校生活の両方に全力で取り組む姿勢は印象的で、さまざまなことに前向きに挑む黒崎さんの成長がこれからも楽しみです。

群馬法科ビジネス専門学校

国家・地方公務員
初級コース2年制

長井 愛純さん
(前橋商業高校出身)



税務調査で社会に役立ちたい

「高校生から公務員試験対策講座や夏期セミナーで群馬法科ビジネス専門学校の先生方の手厚いサポートを受け、進学を決めました」と話す長井さん。高校で学んだ簿記の知識を生かし、税務職員を目指しています。「税務調査などを通じて、公平で適正な税の徴

収を実現し、社会に役立ちたいです」と意欲を見せます。

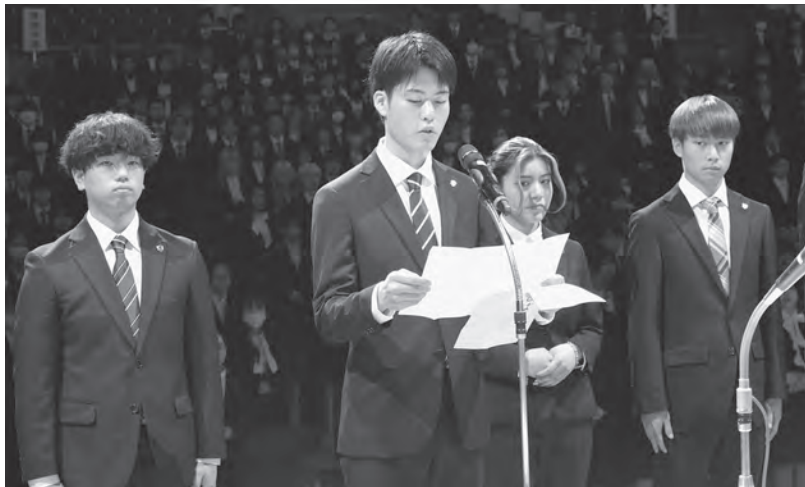
群馬法科ビジネス専門学校では先輩に受験の相談ができる環境を活用。ボランティアやイベントを通じて、仲間とも交流しています。人とのつながりが日々の勉強を後押しします。「仲間と情報交換できることでモチベーションが高まります」と語ります。

「今は一次試験突破に向けて学力を伸ばすこと、そして苦手な面接対策にも力を入れて、今年中の合格を目指します」。ひたむきに努力を重ねる姿勢からは、目標に向けて着実に歩む強い決意が伝わってきます。

中央カレッジグループ

9校合同入

誓いの言葉を述べる松島さん



中央カレッジグループは4月10日、高崎市の群馬音楽センターで9校合同の入学式を開催しました。今年度は計791人が入学し、新たな学び舎でのスタートを切りました。

式には、群馬県高崎安中振興局の倉本高帆局長をはじめ、多数の来賓が出席。厳かな雰囲気の中で新入生たちは希望に満ちた面持ちで式典に

臨みました。

式辞で中島慎太郎理事長は「皆さんがこの学校でさまざまな挑戦と成長を繰り返し、夢の実現に強く向かっていく支援をしていきたい」と新入生にエールを送りました。

新入生を代表して中央情報大学校情報システム学科の松島奏多さんが登壇。「国家資格や各種検定の合格

中央農業大学校

アグリビジネス学科
環境ビジネス専攻

増田 大輝さん
(利根商業高校出身)



植物の栽培スキルを磨く

植物への深い愛情と将来の夢を胸に日々熱心に学びを重ねています。幼いころから自宅で花を育て、その美しさや魅力に心を惹かれてきたことがきっかけで、「もっと深く花や植物を理解し、自分の手で育て、販売まで手がけたい」と中央農業大学校に進学しました。

入学当初は「友達ができるか不安でした」と振り返りますが、今では同じ夢や関心を持つ仲間と出会い、授業や実習の場で自然と会話が弾む、充実した毎日を送っています。特に農業実習や花卉園芸実習には強い関心を寄せ、

植物の育成や管理方法を基礎からしっかりと学びたいと意欲を語ります。さらに、仲間と協力しながら取り組む実習を通じて、専門的な技術だけでなく、チームワークやコミュニケーション力も身につけたいと話します。「夢の実現に向けて、一歩ずつ着実に努力を重ねていきたいです」。

中央医療歯科専門学校太田校

歯科衛生士学科

星野 梨加さん
(桐生第一高校出身)



患者さんに笑顔で寄り添う

「笑顔で寄り添える歯科衛生士になりたい」。そんな思いを胸に、この春、中央医療歯科専門学校に入学。オープンキャンパスで出会った先生や先輩の温かさ、学校全体に漂う穏やかな雰囲気

「一歩踏み出せば未来変わる」

五輪目指す上田さん 県内高校で講演

来年のミラノ・コルティナ冬季五輪で正式種目として採用されたスキーマウンテンアリング（スキーモ）の日本代表を目指す上田絢加さん(32)＝中央カレッジグループ職員＝が6月3日、伊勢崎商業高校で全校生徒と教職員を対象に講演を行いました。

上田さんは神戸大学卒業後、サントリホールディングスに勤務して



講演する上田さん

いましたが、スキーモの五輪採用を機に退職。2023年4月から中央カレッジグループの職員として勤務しながら、群馬を拠点に競技活動を続けています。今年4月には「第18回



講演後、生徒と交流する上田さん（右）

SKIMO日本選手権志賀高原大会」で優勝を果たし、夢である五輪出場に向けて着実に歩みを進めています。

「フルタイムの会社員が五輪に挑

戦 一歩踏み出せば 未来が変わる」と題した講演で、上田さんは「一歩踏み出すことで未来が変わります。恐れず挑戦してほしい」と語りかけました。講演には生徒693人が参加し、一様に刺激を受けている様子でした。

7月には尾瀬高校でも同様の講演を行い、普通科全生徒55人を対象に、自身の経験をもとに挑戦することの意義を伝えました。こちらは、他者との出会いを通じて「気づき」を得ることを目的とした同校の「K!ZUKU!プロジェクト」の一環として実施されました。

学式を開催

791人が新たな門出



式辞を述べる中島理事長

を目指すとともに、実践教育にもチャレンジし、卒業する際には全員、希望する進路が確定していることを目指す」と力強く誓いの言葉を述べました。

新入生たちは今後、それぞれの分

気が入学の決め手でした。「ここなら自分らしく学べると感じました」と笑う。

午前で授業が終わる時間割を生かし、午後は歯科助手として勤務。現場での経験が授業内容と結びつき、理解がより深まっているといいます。「年下のクラスメートも積極的に声を掛けてくれて、すぐに友達ができました」。クラスは明るい雰囲気の中で仲間同士が励まし合いながら成長しています。将来は、患者さんに安心感を与えられる歯科衛生士を目指します。「テスト勉強や復習をしっかり行い、遅刻をせず、後悔のない学校生活を送りたい」と前向きに語ります。

中央医療歯科専門学校高崎校

歯科衛生士学科

桶田 真央さん
(本庄第一高校出身)



時間を有効にスキルアップ

高校時代に2度オープンキャンパスに参加した桶田さんは、先生や先輩たちの優しさに触れ、「とてもいい雰囲気でした」と振り返ります。13時20分に授業が終わるカリキュラムについて「午後の時間を自分の自由に使えます」と指摘。アルバイトや自主学習に活用し、毎日が充実しています。授業については「楽しく、面白く、分かりやすい」と笑顔で話します。特に心理学がお気に入り、積極的に学ぶ姿勢を見せています。

午後は課外活動にも取り組み、時間を有効に使いながらスキルアップに励

んでいます。限られた時間を上手に生かすことで、学びの幅も広がっています。「人々の健康を守る歯科衛生士になり、将来は地元にも貢献したいです」と目標を語る桶田さん。知識や技術の習得に加え、コミュニケーション力の向上にも力を入れ、日々着実に成長を続けています。

高崎ビューティモード専門学校

国際美容師学科

尾身 幸人さん
(新潟県立十日町高校出身)



先生方の優しさに安心感

オープンキャンパスに参加した際、「先生同士の仲の良さが印象的だった」と振り返ります。不器用で苦手意識のあったカット体験では先生方が細かく優しく教えてくれ、「この学校ならできるようになるまでしっかり指導してもらえる」と入学を決意しました。「(新潟出身で)雪から逃れたい気持ちもありました。毎日の学校生活が本当に楽しいです」と充実した様子を見せます。

1年生は毎日席替えがあり、男女問わず仲良くなれることが魅力だといいます。放課後に練習する学生が多く、刺激を受けながら努力を重ねています。将来の夢は東京のメンズサロン「SKILL」で働くこと。実現に向けSNS活動に力を入れ、ヘアセット動画を毎日投稿。「一人でも多くの人に動画を見てもらい、見てくれた方の明日を変える美容師になりたい」と目を輝かせます。

中央動物看護専門学校

動物看護学科

足立玲優季さん
(明和県立高校出身)



飼い主に寄り添う看護師

愛犬が死ぬときに会った動物看護師の優しさに救われた経験から、「動物と飼い主さんの心に寄り添える看護師になりたい」と、動物看護師を目指しました。オープンキャンパスで感じた先生方の温かい雰囲気や動物への接し方、言葉の一つ一つに力強さと優しさを感じ、「ここなら自分の理想の看護師像に近づける」と入学を決めました。

入学当初は緊張し、人と話すことが苦手でしたが、先生との距離感や話し方に慣れ、クラスの温かい雰囲気にも助けられて緊張がほぐれてきました。「消極的な自分から変わりたいという気持ちが強くなり、この環境なら前向きに成長できると感じています」と話します。聞きなれない病名や検査技法など難しい内容にも挑戦し、知識と技術を身につけることが目標。「積極性とリーダーシップも育みたい」と学園祭実行委員にも挑戦する意欲を見せています。

地元企業から情報を収集

高崎で就職ガイダンス

中央カレッジグループは5月13日、高崎市のビエント高崎で就職ガイダンスを開催しました。群馬法科ビジネス専門学校、中央情報大学校、中央農業大学校に通う学生約250人が参加、県内に拠点を持つ流通、メーカー、建設



就職ガイダンスで企業の担当者から説明を聞く学生たち

薬物、性犯罪に注意を

生活安全センターが啓発セミナー

中央カレッジグループ生活安全センターは薬物乱用や性犯罪被害を未然に防止しようと、グループ各校の学生向けに相次いでセミナーを開きました。

4月に群馬法科ビジネス専門学校の学生30人を対象に開いた薬物乱用防止セミナーでは、同センターの関弘久所長が「薬物に手を出すと人生を棒に振る」と危険性を強調。警察制作の啓発ビデオも上映され、「一度使ったらやめられない」「心身をむしばみ、家族や友人関係も破壊する」といった覚せい剤の怖さが強調されました。

中央スポーツ医療専門学校

スポーツ乗整学科

竹之内乙恋さん
(沼田女子高校出身)



勉強に追われる日々楽しむ

小さいころからスポーツに親しんできた竹之内さんは、けがをした友人に何もできなかった悔しさをばねに、「好きなスポーツに関わりながら選手を支えたい」とスポーツトレーナーを目指しました。オープンキャンパスでは先生方の温かい雰囲気や学校の説明に惹かれ、「同じ目標を持つ仲間と高め合える環境や駅近の立地も決め手でした」と振り返ります。

「勉強内容は専門的で難しいですが、になりたい自分に近づくための学びなので前に進めている実感があります」と語ります。そして、「勉強に追われる日々さえも楽しい」と笑顔を見せます。今後は「勉強を怠らずに毎日続けること、そしてクラスのみんなとたくさん思い出をつくることを大切にしたい」と語ります。

目標は柔道整復師国家試験に合格し、選手やチームから信頼されるトレーナーになることです。

などの企業50社がブースを構えました。

各社の人事担当者や人材開発のスタッフが、会社紹介の冊子やパソコン画面を示しながら、業務内容や求める人材像を丁寧に説明しました。学生たちは企業の担当者に直接質問しながら、職場環境や仕事のやりがいについて理解を深めました。参加した学生からは「実際に会社の担当の方から話を聞くことで、就職後のイメージがリアルになった」「漠然と考えていた社会人像が明確になり、早く働きたいという思いが強くなった」といった前向きな声が聞かれました。

中央カレッジグループでは6月にも同様のガイダンスを開くなど、学生と地元企業をつなぐ機会を積極的に設けており、地域に根ざした人材育成と就職支援に力を入れています。



性犯罪被害防止セミナーで護身術を学ぶ学生

性犯罪被害防止セミナーは計480人の女子学生を対象に前橋市や高崎市の各校で6、7月に実施。県警職員が講師を務め、「スマホやイヤホンで注意力が落ちると犯罪者に狙われやすい」と指摘し、大声で助けを求める重要性や防犯ブザー活用を助言しました。護身術の実演もあり、参加者は真剣な表情で取り組んでいました。

学校法人 有坂中央学園 群馬県指定 保育士養成施設

CIA 中央情報経理専門学校

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-49-4 TEL.027-253-5544(代) FAX.027-254-0605



www.chuo.ac.jp/cia/

CHUO
中央カレッジグループ

学園の魅力を伝える

「シアスタ」

オープンキャンパスで活躍

オープンキャンパス（OC）で活躍する学生スタッフを、「CIAスタッフ」を略して「シアスタ」と呼んでいます。授業や学校行事にも意欲的に取り組む学生たちばかりで、OCでは高校生や保護者を笑顔でお出迎え。誘導・案内役として来場者が安心して参加できるよう細やかにサポートしています。

シアスタの魅力は、ただ場所を案内するだけではありません。「どこから来たのですか」「どんなことに興味がありますか」と積極的に声をかけ、緊張気味の来場者の心を自然とほぐして

いきます。その親しみやすさは、個別相談の場面でも発揮されます。教員と一緒に高校生の相談に応じ、自身の体験談を交えながら「授業も楽しいし、先生も親しみやすいですよ」と学校生活のリアルな魅力を伝えています。さらに「不安なことはありませんか」と高校生の気持ちに寄り添う姿は、来場者に安心感を与え、「私もシアスタになりたい」と入学を決意する高校生もいるほどです。

シアスタたちは研修にも積極的に参加し、言葉の選び方や伝え方などコミ



高校生への対応を練習するシアスタたち

ュニケーション力を高める努力を続けています。こうした経験は、卒業後の社会生活においても大いに役立つことでしょう。

一人一人が、学校の魅力や楽しさを高校生に伝える大切な役割を担い、OCの温かな雰囲気づくりに大きく貢献しています。

企業のアイデアに触れる

展示会でビジネスの現場を体感



企業ブースで説明を聞く学生



マーケティングWeekの会場

本校のデジタルビジネス学科1年生、情報ビジネス学科2年生、経営ビジネス学科2年生の学生が6月20日、東京ビッグサイトで開催された「第17回マーケティングWeek—夏 2025—」に参加しました。マーケティングの知識をビジネス現場で体感することを目的とした校外学習の一環。

会場には、販売促進や広告など幅広い分野の企業が多数出展。学生たちはカテゴリーごとに企業ブースを比較しながら、各社の販促手法や顧客との関わり方について説明を受けました。参加した学生からは「営業の熱気を肌で感じた」「企業が工夫して顧客にアプ

ローチしていることが実感できた」といった声が寄せられました。

最新のマーケティングトレンドを紹介するセミナーにも参加し、「授業で学んだ内容が、現実のビジネスとして展開されているのを確認できた」と語る学生もいました。第一線で活躍する企業の担当者による講演は、座学での学びと現場の実務を結び付ける貴重な機会となりました。

「マーケティングの奥深さを感じた」「販促の工夫を知ることができ、就職後に生かせそう」といった感想も多く、学生たちが一層学びへの意欲を高めている様子がうかがえました。

ICTでつながる医療現場

前橋赤十字病院で見学



病院で情報システムについて学ぶ学生

医療情報マネジメント学科・診療情報管理専攻の学生が、前橋市の前橋赤十字病院で「病院情報システム」の視点から院内各部門のシステムを見学しました。医療を支える電子カルテをはじめ、薬剤、検査、食事提供などの各部門の情報システムがどのように連携しているのかについて、説明を聞きました。学生は「それぞれのシステムのつながりが患者さんの安全を支えていると知り、情報管理の重要性を実感した」と感想を述べました。

さらに、普段は立ち入ることのない院内のサーバ室も見学しました。緊急

時でも診療が中断しないよう、システムの停止を防ぐ工夫やネットワーク機器の管理体制について知識を深めることができ、実際の現場を目にする貴重な経験ができました。医療に関する膨大なデータを分析・活用する「情報の二次利用」について、高精度な情報システムが医療データの収集・整理・提供に活用され、より質の高い医療に貢献していると感じました。

今回の見学を通じて、病院情報システムの重要性と、それを運用・管理することの大切さを理解することができました。

異文化理解へ国際交流会

保育福祉・国際ビジネス学科1年生

保育福祉学科1年生と国際ビジネス学科ITビジネス専攻、観光・貿易専攻の1年生が7月11日、国際交流会に参加しました。SDGsを実践するCSCP（Chuo SDGs Challenging Project）の一環で、「異文化理解」をテーマに掲げ、遊びや踊りを通して互いの文化を学びました。

日本の伝統的な遊びのカルタや踊りの振り付けを、保育福祉学科の学生が留学生に楽しく教える様子が印象的でした。一緒に体を動かすことで言葉や文化の壁を超え、笑顔や自然な会話も増えていました。

学生からは、「じゃんけんの仕方が分からない留学生がいて、文化の違いを改めて感じた」「日本に来てから大



カルタで交流する学生たち

変だったことや、つらい経験を聞く場面もあり、考えさせられた」といった感想が寄せられました。一方で、「休憩時間にも一緒に写真を撮ったり、たくさん話すことができてうれしかった」と、心の距離が縮まったことを実感する声も多く上がりました。

これからも、さまざまな文化や価値観があることを理解しながら人と人とのつながりを大切に、思いやりの心を持って行動できる社会人に育ってほしいと願っています。

難関!

全経上級合格

会計スペシャリスト専攻の2人

入学からわずか1年



学生たちは難関資格試験に向けて日々努力しています

本校の学生たちが、難関資格試験で見事な成果を収めました。特に2月の第217回全国経理教育協会簿記能力検定上級では、経営ビジネス学科会計スペシャリスト専攻1年生(現2年生)の2人が合格。全国合格率14.4%という狭き門を突破する快挙を成し遂げました。日商簿記1級と並ぶレベルのこの検定に、入学からわずか1年で合格したことは、素晴らしい成果です。合格した学生は「1年次に高資格合格でき、努力した成果が出てとても嬉しいです」と喜びを語りました。

また6月の第170回日本商工会議所簿記検定2級では、会計ビジネス学科会計スペシャリスト専攻の1年生が入

学からわずか2カ月で8人合格。「2級合格が自信につながりました。次は1級合格を目指して頑張りたいです」と、さらなる挑戦への意欲を見せています。

教員によるきめ細かな指導に加え、授業を録画配信し、学生が何度でも復習できる環境を用意しています。「授業で理解できなかった部分も後からじっくり確認できる」「自分のペースで繰り返し学べる」と学生からも好評です。

今後も学生たちが日商簿記1級や税理士試験科目といったさらなる上位資格に挑戦し続けられるよう、学びの環境づくりを進めていきます。



珠算に取り組む国際ビジネス学科の学生

力の向上にもつながっていることが実感されています。学生たちが真剣に取り組む姿からは、日本の子どもたちが幼いころからそろばんを学ぶ理由が分かったようでした。

今後は、公益社団法人群馬県珠算連盟が主催する珠算検定試験への挑戦も予定されており、学生たちは技術習得とともに文化理解の面でも前向きに取り組んでいます。目標を持って努力を重ねる中で、日本文化への関心がさらに広がることが期待されます。

卒業生、頑張ってます

マルエ薬局調剤クラーク

長谷川真陽さん

(医薬販売学科卒)

「仕事に充実感」
処方箋入力や保険請求

今年3月に本校を卒業し、「マルエ薬局」で調剤クラークとして働く長谷川真陽さん。新生活が始まって数カ月、少しずつ仕事にも慣れ、笑顔で日々を過ごしています。

処方箋の情報入力や保険請求、医薬品の補充など、業務は多岐にわたります。はじめは慣れない作業に戸惑うこともあったそうですが、「先輩方が親切に教えてくださるので、安心して取り組んでいます。仕事に充実感を感じています」と語ります。

学生時代を振り返り、「しっかり勉強しておくことが本当に大切だと今になって感じます」と実感のこもった言葉も聞かれました。勤務は水曜・日曜に加えて土曜の午後にも休める体制で、オンとオフの切り替えがしやすく、「休



業務に励む長谷川さん

憩時間に外でランチを取るのが楽しみのひとつです」と社会人としてのリズムもつかんでいる様子です。

「学生のころに比べて、弱音を言わなくなりました」と話す姿は、自信と成長を感じさせ、頼もしさが伝わってきます。

本校医薬販売学科では、調剤事務管理士や医薬品登録販売者などの資格取得を支援し、薬業の現場で活躍できる人材を育成しています。長谷川さんのように、地域の健康を支える存在として輝く卒業生がこれからも増えていくことを期待しています。



日本留学フェアで情報を収集する学生

進路選択の情報を収集

高崎で日本留学フェア

日本国内での進学を希望する留学生に向け、大学や短期大学、専門学校などの教育機関が一堂に会する「日本留学フェア」が6月3日、高崎市のホテルメトロポリタン高崎で開催されました。本校日本語学科の2年生も参加し、各校の特色や学科内容について説明を受け、進路選択への理解を深めました。

会場では、学生たちが真剣な表情で各ブースを回り、資料を手に取りながら熱心に話を聞き、積極的に質問する姿が見られました。「さまざまな学校のことを知ることができて

良かった。県内の他の日本語学校の学生の積極的な姿勢にも刺激を受けました」との感想もあり、卒業後の進路を具体的に考えるきっかけになったようです。

教員からは「学生が希望する進路に進めるよう、学科一丸となって全力でサポートしていきたい」との声も聞かれました。本校では今後も、国際ビジネス学科・国際エンジニア学科をはじめ、多様な分野を視野に入れ、学生が自分に合った進学先を選べるよう支援を続けていきます。

留学生

そろばんに挑む

国際ビジネス学科の1年生を対象に、日本の伝統文化を体験しながら理解を深める授業として珠算の学習が行われています。この取り組みは、語学にとどまらず、日本の背景にある価値観や思考法に触れることを目的とした実践的な文化教育の一つです。

授業では、そろばんを使った基本的な計算方法を中心に、知識と実技の両面からアプローチしています。学生たちは指先を使って数をはじき、視覚的に数字をとらえる感覚に最初は戸惑いながらも、「少し難しいけれど、練習すると計算が簡単にできる」「以前は知らなかったが、実際に触れてみると楽しい」といった声を寄せています。

また、「指や頭を使って練習することで集中力が高まる」との感想もあり、そろばんを通じた学習が思考力や集中

学校法人 有坂中央学園 専門学校

CID中央情報大学校

〒370-0841 群馬県高崎市栄町13-2 TEL.027-324-8511(代) FAX.027-325-8820



www.chuo.ac.jp/cid/

CHUO
中央カレッジグループ

産学連携で実践力を育む

企業との協働で学びを深化

本校では、さまざまな企業と連携し、学生に実践の場を提供しています。企業が抱える課題に対して、学生たちはこれまでに学んだ知識やスキルを最大限に活用し、解決策を提案・実践しています。

こうした産学連携の取り組みは、学生にとって貴重な経験の場であり、現場で求められる課題解決力やコミュニケーション能力の向上につながっています。実際のビジネスの現場での経験を通じて、学生たちは将来のキャリアに直結する実践力を育んでいます。

現在進行中の企業連携プロジェクトについては、本校公式SNSで随時情報を発信しており、学生の挑戦の様子やプロジェクトの進捗状況をご覧いただけます。

公式キャラクター制作

林さん最優秀賞

藤岡市の大手鉄骨メーカー、株式会社鐵建との連携で2つのプロジェクトが実現しました。1つ目は同社公式キャラクターの制作。もう1つは、このキャラクターをAR(拡張現実)コンテンツに実装する取り組みです。デザイン案の作成からARシステムの実装までを一貫して担当しており、学内で培った技術が社会でも通用することを実証する機会になりました。

キャラクター制作はデザイン系学科の学生たちが担当。事前に企業を訪れ

鐵 建

鐵建の公式キャラクターに採用された林さんのデザイン



て、迫力ある鉄骨製造の現場を見学し、企業理念などもヒアリングしながらデザインのアイデアをイメージしました。作品を審査した結果、最優秀賞に輝いたのはクリエイティブデザイン学科1年、林百合愛さん(吾妻中央高校出身)の作品。力強さと親しみやすさを併せ持つキャラクターは企業理念を的確に表現、高い評価を受けました。

ARシステム開発まで一貫提供

このキャラクターは商標登録を経て、LINEスタンプや広告媒体などで幅広く活用される予定です。表彰式では同社の小山慎一代表取締役から学生たちに表彰状が手渡されました。

ARシステムはこのキャラクターがパンフレットから飛び出すもので、情報システム学科の学生たちが開発中です。中央情報大学校の学生募集用パンフレットで活用した技術を応用し、外部企業向けに展開する初の試みとなります。



小山代表取締役から表彰状を受ける林さん

情報システム学科2年の河合蒼太さん(利根実業高校)が、前橋赤十字病院で使用する「教育アプリ」を開発中

です。「救急カートの中身の

前橋赤十字病院の救急カートレイアウト確認学習アプリ開発

レイアウトを覚えるのが大変」というニーズを現場職員からヒアリングした学生たちがアプリ化を提案し、開発が始まりました。

このアプリが導入されれば、救急カートがなくてもレイアウトを覚えることが可能になります。カートの

中身は定期的に変更されるため、そ

れにも対応できる柔軟な設計にしています。学生たちの鋭い気づきとアイデアが光るプロジェクトとなり、早い完成が待たれます。

親広産業

産学連携は高崎市の株式会社親広産業とも活発に行われています。同社は県内を拠点にガレージ施工や太陽光発電設備など幅広い事業を展開する地域密着型企業です。学生たちは同社との連携を通じて、社会課題に取り組む実践的なプロジェクトに挑戦しています。デザイン・情報分野の学生たちが関わる取り組みを紹介します。

ガレージ彩るシャッターアート

クリエイティブデザイン学科の学生たちは、同社が手掛けるガレージのシャッターをアートで彩るプロジェクトに取り組んでいます。現在はシャッターにどのようなアートを施すのか、使用する画材は何にするか、などについて打ち合わせが進んでいます。地域の人々の目に触れることの多いガレージに新たな価値を与えるこの試みは、学生にとって貴重な実践経験の場になります。



シャッターアートに取り組む学生



試作機設置に向けて作業する学生

ガレージのロゴデザインにも挑戦

シャッターアートプロジェクトと並行して、クリエイティブデザイン学科では県内各所にある同社のガレージに使用される新たなロゴの制作に挑戦しています。ブランドイメージの向上や認知度アップにつながる重要なデザインであるため、学生たちはターゲットや使用場面を意識しながら、真剣に取り組んでいます。

銅線盗難防ぐセキュリティシステム

高度ICTデザイン学科と情報システム学科の5人の学生が、太陽光発電設備に関する社会的課題に挑んでいます。親広産業と共同で「銅線盗難防止のセキュリティシステム」を開発。発電現場で綿密な打ち合わせを重ね、試作機を試験運用しています。開発依頼から試験運用まで1カ月というスピードで実現した現場対応力が評価されています。この技術は特許申請中です。

バーチャルアイドルプロジェクト進行中

デザイン系3学科が結集

レイズイン

デザイン系3学科(ポップカルチャー学科、ネット動画クリエイター学科、クリエイティブデザイン学科)が「バーチャルアイドルプロジェクト」に力を入れています。株式会社レイズインが楽曲制作と声優を担当し、本校がキャラクター制作とミュージックビデオ制作を担う産学連携のプロジェクトです。

現在、バーチャルアイドルのCDデビューに向けて着々と準備が進められています。ミュージックビデオはテレ



バーチャルアイドルプロジェクトで制作されたキャラクター

ビ番組のエンディングテーマを視野に入れて調整中です。学生たちのクリエイティブな才能とプロの技術が融合したプロジェクトの今後の展開が注目されます。

留学生と日本人学生が交流

日本語クラスゲスト 文化や価値観を共有

「靴を脱ぐのはなぜ?」。そんなシンプルな質問が、自分の文化を見つめ直すきっかけになります。それが日本語学科の「日本語クラスゲスト」の取り組みです。日本語学科の授業に、学科を問わず日本人学生がボランティアとして参加し、留学生との会話やインタビューを通じて交流します。ただ教える、教わるという関係ではなく、「生

きた日本語」を通してお互いの文化や価値観を共有し合う、双方向の学びの場となっています。

今回は5月12日と20日、「日本人の日常生活と日本での疑問」、「自国と日本の習慣やマナー・ルール」をテーマに実施。「なぜ日本人は家で靴を脱ぐのか」「電車で電話をしないのはなぜ?」など、身近な疑問が飛び交いま



「日本語クラスゲスト」で交流する学生

した。それに応える日本人学生たちも「当たり前」と思っていた習慣を問い直す機会になったようです。言葉をやさしく言い換えたり、話すスピードに気をつけたりと、伝える工夫も随所に見られました。本校では、専門分野の知識だけでなく、多様な視点を持つ人材の育成にも力を入れています。

iCDAアカデミー 認証「★★」取得

高度ICT人材の育成強化

本校はiCD（i コンピテンシ ディクショナリ）協会のiCDAアカデミー認証「★★」を取得しました。同アカデミー会員校として、高度ICTデザイン学科における学習内容と実際の業務内容の対応表を作成し、評価を受けました。

iCDはIT人材の量的・質的な不足という課題に対応するために策定された枠組みで、企業と人材育成の考え方を体系的に整理したものです。ITを活用する業務の内容と、それに必要なスキルや知識を体系化しており、人材育成や教育方針の策定に幅広く活用されています。

本校では今後、高度ICTデザイン学科のカリキュラ



iCD協会の会員証

電気系国家試験に多数合格

第二種電気工事士6人

電気通信学科では各種電気系国家試験に挑戦しています。直近の合格者状況を紹介します。(カッコ内は出身校)

▽第三種電気主任技術者 下期試験 (3月実施)

清水 翔太(渋川高校)
※全国合格率:16.8%

▽第二種電気工事士 筆記試験(5月実施)

植井 隼斗(深谷高校)
榎原 崇太(前橋工業高校)
小林 暖(孺恋高校)
中里 響(桐生第一高校)
百々美由羽(高崎女子高校)
湯浅 樹壺(安中総合学園高校)
※本校合格率:100%(全国合格率:57.7%)

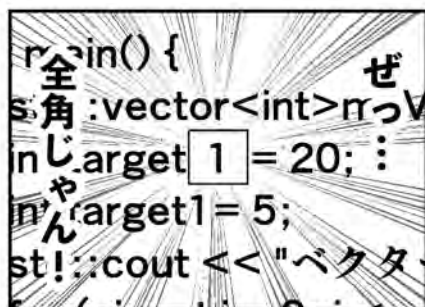
健康分析やゲーム展示 2月に学習成果発表

5回目となる学生成果発表イベント「CID EXPO 2026」が来年2月21日の土曜日に開催されます。展示やイベントの準備が着々と進められています。

今回は体験型ジェットコースター、歩行動作による健康分析、ライブペイント、自動採寸技術の紹介、小人視点

情報学生 あらあ CID 劇場 第2話

作:村居龍之丞



ムにiCDの考え方を積極的に取り入れ、企業との連携や実践的な人材育成に役立てていく方針です。学生がより高度で実務に直結したスキルを習得できる環境づくりを推進します。

留学生13人が 中学校訪問 母国の遊び共に楽しむ

本校の留学生13人(国際エンジニア学科、日本語学科)がJICA国際交流プログラムの一環で伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校を訪れ、国際理解を目指して中学生と交流しました。

教室の黒板には、留学生たちの母国の国旗と「welcome」の文字が描かれ、温かい歓迎に留学生たちの表情も和らぎました。国紹介から始まり、母国の遊びを中学生と一緒に楽しむ時間も設けられ、教室は笑い声に包まれました。

英語部の生徒が用意した日本の駄菓子子を皆で味わい、初めての味に感激す



中学校で交流する留学生

る留学生の姿も見られました。お菓子をきっかけに自然と会話が弾み、国や文化の垣根を越えた交流が広がりました。今回の訪問は、留学生にとって日本社会への理解を深め、進学や就職活動にもつながる貴重な経験となりました。本校は日本の将来を支えるグローバル人材の育成に取り組んでいきます。

介護テクノロジーを紹介 シタラフェアに初出展

5月16、17日にビエント高崎で開催された「シタラフェア2025」に、本校が介護テクノロジーブースに初出展し、多くの来場者が訪れました。

「まちなか保健室」「介護AI(食事管理)」「駄菓子屋DX」といった、学生たちが開発したユニークな介護テクノロジーを紹介。学生たちは、展示物の特徴や制作過程を丁寧に説明し、来



本校が初出展したシタラフェア

場者と交流しました。高齢化社会の課題解決へ新たな可能性を秘めた展示に期待の声が聞かれました。

受賞相次ぐ ポスターコンテスト



野田さんの作品



今井さんの作品

クリエイティブデザイン学科の学生が、地域のポスターコンテストで相次いで受賞する快挙を成し遂げました。伊勢崎市観光特使ひまわりコンテストの参加者を募るポスターではクリエイティブデザイン学科2年の野田帆乃華さん(渋川工業高校出身)のデザインが優秀賞を受賞。高崎まつりボランテ

ィア募集ポスターのコンテストでは、同学科2年の今井健太さん(玉村高校出身)の作品が最優秀賞に輝き、高崎市内各所に掲示されました。

本校では、今後も学生が地域社会と関わりながら実践的なデザイン力を磨き、社会に貢献できるクリエイターとして成長できるよう支援していきます。

学校法人 有坂中央学園

GLC 群馬法科ビジネス専門学校

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-48-1 TEL 027-256-7700(代) FAX 027-256-8811



www.chuo.ac.jp/glc/

CHUO
中央カレッジグループ

知識を競い、楽しく復習 白熱した一問一答大会

7月16日、本校にて「一問一答大会」が開催されました。この大会は、公務員試験の出題範囲からクイズ形式で問題が出題されるイベントで、各クラスがチームとなって知識を競い合うクラス対抗戦として行われました。試験範囲は非常に広く、通常の学習ではなかなか網羅が難しいものですが、この形式では楽しみながら重要ポイントを復習することができ、生徒たちにとって貴重な学習機会となりました。

大会では、日頃から試験に向けて蓄えてきた知識をいかに素早く、正確に

担任の似顔絵を描く問題で「作品」を示す学生



発揮できるかが勝敗を分けます。問題が読み上げられるたびに教室は緊張感に包まれ、正解が発表されると大きな拍手や歓声が上がるなど、熱気に満



応援も盛り上がった一問一答大会

ちた時間が続きました。中でも圧倒的な強さを見せたのが下山クラス。田代クラスとの接戦を制し、見事な成績で優勝を果たし、クラス一丸となった努

力が実を結ぶ結果となりました。この勢いをそのままに、公務員試験本番でも一問一問を丁寧に解き、好成績を収めてくれることを期待しています。

試験情報や指導ノウハウ共有 公務員試験情報交換会に18高校

5月22日、本校にて「公務員試験情報交換会」が開催され、県内高校18校から進路指導を担当する教員21人が参加しました。本校は県内で30年以上、公務員試験の受験指導を行っており、今回は公務員試験関連の出版事業を展開する株式会社実務教育出版と共催で、高校教員に試験に関する最新情報や指導ノウハウを提供しました。

第1部では同社飯川昇取締役が「高卒程度公務員試験の特徴と対策」と題して講演。本年度の試験日程や出題傾



高校教員向けに開かれた情報交換会

向、近年の試験内容の変化を解説しました。第2部では本校の宮田和樹副校長が「高校生への公務員受験指導の要点」をテーマに登壇。長年の指導経験を踏まえた実践的かつ具体的な受験指導法を紹介し、参加した教員からは「たいへん勉強になった、参加できてよかった」「試験対策の考え方が整理できた」といった前向きな感想が聞かれました。

税務の業務を学ぶ 国税局職員が説明会

6月13日、関東信越国税局の職員を本校に招き、業務説明会が開催されました。国税局や税務署の業務について実例を交えて解説されました。会計書類に隠された不正を見つけ出す「税務調査」の模擬体験もあり、学生たちは税務官の業務の一端を体感しました。

税務の仕事は、行政の財源を支える重要な役割を担っており、その責任の重さややりがいについて学ぶ貴重な機会となりました。

学園祭や 地域行事で活動

学生消防団が 5年目



消防団の活動に励む学生たち

本校の学生が前橋市学生消防団として活動を始めてから、今年度で5年目を迎えました。今年度は新たに47人が入団し、総勢72人での活動となります。

団員たちは、県内各大学の学園祭での防災広報活動をはじめ、前橋花火大会やぐんまマラソンなどの地域行事にも救護班として参加する予定です。地

域の一員として、住民の皆さまの安全な暮らしを支える役割を担う学生たちの姿は頼もしく、今後の活躍が期待されます。

本校では、これからも地域に根ざした活動に積極的に関わる学生たちを後押しし、社会貢献の精神を育てていきます。

予算案作りに挑戦 外部講師のプログラム

本校は毎年さまざまな公的機関から職員を招いて出前授業を実施しており、5月14日には前橋財務事務所職員による「財政教育プログラム」の授業が行われました。



財政について学んだ出前授業

授業では、日本の財政状況や国家予算の仕組みについての講義に続き、生徒がグループごとに予算案を考えるワークに取り組みました。限られた財源の中で医療、教育、防衛などの予算配分を議論し、優先順位を決定。発表では各グループが課題への考えを共有し

ました。生徒たちは「受益と負担のバランスを考える重要性を実感した」と話し、社会課題への理解を深める貴重な体験となりました。

本校では、学生たちが地域社会への感謝の気持ちを込め、さまざまなボランティア活動に積極的に取り組んでいます。こうした活動は、日ごろお世話になっている地域の方々への恩返しにとどまらず、公務員を目指す者としての奉仕の精神や社会性



ボランティア活動に励む学生

継続的にボランティア ごみ拾いや花壇整備

を育むこと、さらに他者との関わりを通じてコミュニケーション能力を高めることも目的としています。

具体的な活動としては、「敷島公園サポーター」として前橋市の敷島公園の維持管理に携わり、花壇の整備などを行っています。また、地域

の大きな行事である前橋まつりでは、早朝からごみ拾いに参加し、来場者が気持ちよく過ごせるよう協力しています。さらに、学校周辺や新前橋駅周辺での定期的な清掃活動も実施。こちらは学生の自主的な取り組みで、参加希望者がその日ごとに

集まり活動が続けています。

これらの活動は、地域の美化にとどまらず、防犯への貢献という点でも意義深いものです。本校では今後も、地域とともに歩む学びの場を大切にし、こうした実践的な取り組みを継続していく方針です。

学校法人 有坂中央学園 専門学校

CAG 中央農業大学校

〒371-0805 群馬県前橋市南町2-31-1 TEL.027-220-1200(代) FAX.027-223-2814



www.chuo.ac.jp/cag/

CHUO
中央カレッジグループ

アグリテック教育最前線 工夫重ねる水耕メロン

遠隔監視や 作業の自動化

本校では、アグリテック（農業とテクノロジーの融合）の知識と技術を実践的に学ぶ授業を展開しています。その中でもひととき注目を集めているのが、メロンの水耕栽培に取り組む「メロン部」の活動です。

今年度も新たな挑戦が始まり、7人の1年生が新たに入部。進級した先輩部員を中心に活動が本格化していま

す。昨年度は害虫の発生や日々の作業負担、年々厳しさを増す環境条件といった課題に直面しました。こうした反省を踏まえ、今年はセンサーやIoT機器を導入し、作業の自動化や遠隔監視の仕組みを整備。省力化と環境管理の精度向上を目指しています。

部員たちは昨年度の経験をもとに工夫を重ね、より安定した収穫を目指して活動を続けています。こうした技術的な試みは、単なる農作業にとどまらず、データ分析やチームでの課題解決能力を磨く貴重な学びの場にもなっています。



メロンの水耕栽培に取り組む学生

「昨年の課題を乗り越え、もっと良いメロンを育てたい」と語る部員たちの意欲は日々の活動にも表れており、学生一人ひとりの成長につながっています。また授業ではドローン操作や室

内での水耕栽培にも取り組み、伝統的な農法の知識と最新のアグリテックをバランスよく習得。未来の農業を担う人材として、学生たちは実践を通じて着実に力をつけています。

学生9人、前橋・水神社

神輿担いで 地域と交流



力強く神輿を担ぐ学生

前橋市南町2丁目の水神社で7月12日、神輿巡行が行われ、本校の学生有志が参加しました。この地域では年々神輿の担ぎ手が不足しており、自治会の要請を受けて2年前から学生が担ぎ手として協力。昨年からグループ校にも拡大し、今年は本校と中央動物看護専門学校から合わせて9人が参加しました。初参加の学生も多く、地域の方や経験者に担ぎ方のコツを教わりながら、約2時間の巡行に交代で臨みま

した。

水の神を祀る神社ということもあり、巡行中は神輿と担ぎ手に水がかけられる場面もありますが、沿道からの声援や地域の方々との触れ合いに励まされ、学生たちは最後まで力強く神輿を担ぎ続けました。

巡行後には水神社の歴史や地域行事の背景についての話を聞き、学生にとっては地域とのつながりを深める貴重な機会となりました。

スイス農業の魅力語る

…………… 卒業生の竹内さん



スイスの体験を語る竹内さん

4月22日、本校にて特別講演会が開かれ、2023年度農業経営学科農業ICT専攻（現アグリビジネス学科スマート農業専攻）を卒業、現在は徳島県で農業に従事している竹内舞唯さんが登壇しました。竹内さんは卒業後、1年間にわたりスイスでの海外農業研修に参加し、現地の農業や生活文化を体験しました。

竹内さんは、農業先進国として知られるスイスで、最先端の農業技術に触れながら、現場での農作業に従事しました。講演では、農業に関する学びにとどまらず、現地の文化や習慣、休日の過ごし方、地域住民との交流など、多岐にわたる体験が語られました。言語の壁を乗り越えて得た貴重な経験を、竹内さんは終始笑顔で話し、会場は和やかな雰囲気になりました。

講演を聴講した学生たちは、一言一句聞き逃すまいと真剣な面持ちでメモを取り、質疑応答では「自分も海外に挑戦したい」「スイスの農業を実際に見てみたい」といった声が続々と上が

りました。竹内さんの前向きな姿勢と行動力は、後輩たちに大きな刺激を与え、海外での挑戦に対する関心を一層高める契機となったようです。今後、竹内さんに続く挑戦者の登場が期待されます。

産学連携のコラボメニュー 個性あふれる2品が誕生

本校と上州牛ステーキ&ハンバーグの専門店「GGC」の産学連携によるコラボメニュー開発が、今年で13年目を迎えました。毎年恒例となったこの取り組みは、学生にとって貴重な実践の場になります。今年の9月メニューに選ばれた2人の学生のアイデアが商品化されました。

倉田匠さん（瑞穂農芸高校出身）は「秋のお月見ハンバーグ」を考案。バター醤油にガーリックを効かせたソースがハンバーグに絡み、食欲をそそるスタミナ満点の一品です。販売はハッピーバーグ&GGCキッチンで行っています。



産学連携のコラボで誕生したハンバーグ

小島樹さん（自由の森学園高校出身）はチーズをたっぷり使用した「炙りチーズの太陽のトマトチーズインハンバーグ」を考案。炙りチーズの香ばしさとトマトの酸味が絶妙で、見た目も華やかに仕上がっています。GGCの高崎店、小相木店、駒形店で味わえます。

両メニューとも9月の期間限定販売です。ぜひ一度味わってみてください。

さあ
かり

果実工房

**「あんバターサンド」
新登場**

果実工房ありさか

どこか懐かしく、誰かに贈りたくなる一。そんな思いを込めた新作スイーツ「あんバターサンド」が、中央フレッシュフーズ(株)が運営する工場直売店、果実工房ありさかより発売されました。北海道産のあんことバターを贅沢に使用し、なめらかなクリームを合わせた絶妙な味わいが魅力です。ひと口頬張れば、やさしい甘さがふんわりと広がります。レトロ感のある紙箱入りで、見た目にも上品。贈り物や手土産、自分へのご褒美にもぴったりです。賞味期限

新作スイーツの
あんバターサンド

は3日間で、現在販売中です。

同社では中央農業大学校の学生が製造や販売の現場で実習。食品の衛生管理をはじめ、食の製造・販売に関わる知識や技術の習得に励んでいます。中央フレッシュフーズはフルーツサンドやフルーツタルトなど、新鮮な果物を使用した商品も展開。季節ごとに登場するスイーツが多くの人々に親しまれています。

学校法人 有坂中央学園 厚生労働大臣指定 歯科衛生士養成所

CIS 中央医療歯科専門学校 太田校

〒373-0026 群馬県太田市東本町41-12 TEL.0276-25-8833(代) FAX.0276-25-8841



www.chuo.ac.jp/cis/

CHUO
中央カレッジグループ

就任あいさつ

今年度より、中央医療歯科専門学校太田校（CIS）学校長に就任しました渡邊恵里です。どうぞよろしくお願いします。

近年、AIをはじめとしたテクノロジーの進化により、世の中はかつてないスピードで変化しています。この状況下において、現在、大阪

夢の実現に向け努力を

中央医療歯科専門学校太田校 学校長 渡邊 恵里



市では、国連が掲げる「SDGs（持続可能な開発目標）」の達成に向け、「いのち輝く未来社会のデザイン」をメインテーマとした大阪・関西万博が開催されています。

万博は、地球規模で生じている様々な課題解決に向けて、世界各地の英知が集結する場ですので、今回のこのテーマにあやかり、本校の学生諸君にも、自らのいのちを活かし、

幸福な生き方を求めながら、広く地域の方々に適切な医療・福祉サービスを提供する、立派な歯科衛生士を目指してほしいと思っています。

本校は、経験豊富な先生方による指導に加え、大学や歯科医院等で活躍している特別講師の先生方から学べる機会も多く、組織的教育体制が十分に整っています。将来の夢の実現に向けて、どうぞ、仲間とともに前向きに努力を続けてください。

歯科衛生士学科に男子2人

全国的にも増加傾向

2人の男子学生
歯科衛生士学科に入学した

歯科衛生士学科に今年度、男子学生2人が入学しました。歯科衛生士は全国的に女性が大多数を占める職業であり、令和7年（2025年）の調査によると、就業中の歯科衛生士に占める男性の割合はわずか0.4%にとどまっています。しかし近年は、全国の養成校に通う男子学生の増加が顕著であり、本

校でも今回の入学を機にそうした流れが強まっていきそうです。

入学した2人は「人の健康に直接関わる仕事がしたい」「歯科の知識を深め、患者さんの不安を和らげたい」とそれぞれ抱負を語り、すでに高い志を持って学び始めています。学内では周囲の学生と積極的に交流し、さまざまな視点を取り入れながら授業や実習に取り組む様子が見られます。

今後の歯科医療現場では、性別にとらわれず活躍できる人材の育成が求められています。2人の挑戦が後輩たちにとっても大きな励みとなることが期待されます。



「歯と口の健康フェア」に参加した学生たち

実践の場で学ぶ

「歯と口の健康フェア」に参加

歯科衛生士学科の3年生4人が6月1日、イオンモール太田で開催された「歯と口の健康フェア」にボランティアとして参加しました。このフェアは、地域の人に口腔の健康づくりを呼びかける啓発イベントで、毎年多くの来場者でにぎわいます。

本校の学生たちは「型どりの体験コーナー」などの運営を手伝いながら、来場者との触れ合いを通して、学びを深めることができました。

参加した学生からは「実際の現場に立ち会うことで、将来の仕事のイメージがはっきりしてきた」「子どもたち

の反応がうれしくて励みになった」といった感想が聞かれました。

地域とつながるこのような経験は、歯科医療の専門職を目指すうえで大切な一歩となりました。

実技試験へ本格練習

2年生の校内実習が本格化しています。放課後にも多くの学生が自主的に残って実技試験の練習に励んでいます。実技試験は習得した技術を実際の場面で発揮します。学生たちは自分の弱点を繰り返し練習したり、友人同士でアドバイスをし合ったりしながら、本番へ準備を進めています。教員からの指導も受けられる放課後の時間は、実力を伸ばす貴重な場となっています。



実技試験に向けて練習に励む学生

学生からは「最初はいまうまくできなかったけれど、練習を重ねるうちに手ごたえを感じられるようになった」との声も聞かれました。

学年を超えて交流

積極的に献血も



学年を超えて交流する学生たち

4月15日、新学期のスタートに合わせて、本校で3学年合同の学生交流会が開催されました。学年を超えて学生同士のつながりを深めることを目的とした毎年恒例の行事です。

学年が混ざったグループでレクリエーションや自己紹介が行われ、和やかな雰囲気の中で交流が進みました。上級生が学校生活のこつや実習での体験談を語るなど新入生にとっては大きな安心につながったようです。

また、同日には校内で献血活動も

実施され、希望者が積極的に協力しました。初めて献血に参加した学生も多く、「少し緊張したが、誰かの役に立てることがうれしい」と話す姿が印象的でした。献血に関する説明や看護師によるサポートもあり、参加者は安心して臨むことができました。

交流会と献血という2つの取り組みを通じて、学生たちは思いやりの心と人とのつながりの大切さを改めて感じる一日となりました。

スケーラーの手入れ学ぶ

歯科衛生士学科3年生が5月9日、代表的な歯科医療器具スケーラーのシャープニング実習に臨みました。スケーラーは歯石除去や歯の清掃に使われ、先端が細く湾曲した金属製の刃が特徴です。歯や歯周ポケットに沿って正確に操作できるよう設計され、常に鋭利な状態が求められます。

実習では刃先角度の調整法や適切な研ぎ方、日常的メンテナンスの重要性を学びました。教員の助言を受けつつ、自らシャープニングを行い器具管理の技能を磨きました。

学生からは「器具管理が患者さんの安全に直結することを実感しました」「日々のメンテナンスの大切さを改め



スケーラーの手入れ法を学ぶ学生

て認識しました」といった声が聞かれます。教員は「器具を大切に扱う姿勢は歯科衛生士の基本であり、信頼される医療人になる第一歩です」と話しました。

学生は臨床現場で求められる技術と、医療従事者の心構えを習得する重要な機会を得ました。

学校法人 有坂中央学園 厚生労働大臣指定 歯科衛生士養成所

CMS 中央医療歯科専門学校 高崎校

〒370-0843 高崎市双葉町2-8 TEL. 027-310-5088 FAX. 027-310-5622



www.chuo.ac.jp/cis/

CHUO
中央カレッジグループ

戴帽に誓うプロの覚悟

博愛と奉仕の心で チーム医療支える

歯科衛生士学科2年生31人を対象とした戴帽式が7月17日、高崎市のヒカリフルコート高崎大聖堂で行われました。チャペルには多くの保護者や来賓、在校生も参列し、白衣姿の学生たちは厳かな雰囲気の中、医療人としての第一歩を踏み出す節目に緊張した面持ちで臨みました。

戴帽はナイチンゲールの精神を継ぐ伝統的な儀式で、看護や歯科衛生の専門職としての誇りと責任を示す意味があります。式で学生たちは一人一人名前を呼ばれると、2人ずつ祭壇前に進み、高崎市歯科医師会の谷内晴夫会長と本校の原和則校長からナースキャップが載せられました。キャンドルに火を灯して両手で持ち、献身や奉仕の精神を示しました。

原校長は式辞で「戴帽はプロになる覚悟をもって医療に携わる証です」と



戴帽後、誓いの言葉を述べる学生

激励。谷内会長は「全身医療を含めたチーム医療の中心的存在として、地域に信頼される歯科衛生士になってください」と期待を寄せました。

学生を代表して高橋未来さんは「今日の気持ちを胸に、誇りと自覚をもって一歩ずつ歩んでいきます」と誓い、全員で「博愛と奉仕の心を持ち続ける」などと誓いの言葉を唱和しました。



戴帽を受ける学生たち

地域歯科で実践力

最後の臨地実習

本校歯科衛生士学科の3年生が、5月20日から7月16日までの34日間にわたり、高崎市を中心とした地域の歯科医院で最後の臨地実習を行いました。

学生たちは、これまでの学びを生かしながら現場で実践を積み重ね、より高度な技術と知識の習得に励みました。実習を終えた学生からは、「3度目の実習で学びがさらに深まりました」「先生方が業務の合間に丁寧に教えてくださり、とても感謝しています」「社会に出てからの厳しさや責任の重さを実感しました」といった感想が聞



最後の臨地実習で技術を学ぶ学生

かれました。

この臨地実習は、学生たちにとって職業人としての意識を高める貴重な機会となりました。地域の歯科医院による協力が、実践力を養う学びの場を支えています。

新任職員紹介

瀬尾 昌央さん（副校長） 変化も成長の機会



このたび中央医療歯科専門学校高崎校の副校長を拝命いたしました瀬尾昌央と申します。昨年度までとは大きく環境が

変わり、特に女性が多い学校ということで、正直戸惑うことも少なくありま

井上裕美子さん （学生部兼 CMS 教務事務） 食べ歩きが大好き



このたび学生部兼本校教務事務に着任いたしました井上裕美子と申します。美味しいものを探して食べ歩くことが大好きで、休日には新しいお店を巡ってリフレッシュしています。新しい環境で学ぶことも多いと思いますが、学生の皆さんが安心して学校生活を送れるよう心を込めてお手伝いしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

5月に開かれた中央カレッジグループのスポーツフェスティバルで本校などのチームが見事2連覇を達成しました。最終競技での逆転優勝に会場は大きな拍手と歓声に包まれました。

スポーツフェス2連覇

最終競技で逆転

当日はさまざまな競技が行われ、各校の学生たちが汗を流しながら真剣に競い合いました。競技を通じて他校の学生との交流も盛んに行われ、笑顔や励まし合う声があちこちで見られました。

参加した学生からは、「他校の学生と交流できて楽しかったです」「2連覇できたこと、さらに逆転での優勝は格別でした」といった感想が寄せられ、貴重な経験となった様子がうかがえました。今回のスポーツフェスティバルは、競技だけでなく、学生同士の絆を深める大切な機会にもなったようです。



スポーツフェスティバルに参加した学生

せん。ただ、こうした変化もまた成長の機会だと感じています。趣味はユズとカットという2匹の猫と過ごすことです。まだ分からないことが多々ありますが、一つ一つ学びを深め、誠実に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

宮嶋麻理奈さん（教務課） 趣味は子どもと遊ぶこと



本校教務課に着任いたしました宮嶋麻理奈と申します。趣味は子どもと一緒に遊ぶことで、休日は家族と過ごす時間を大切にしています。学生時代は女子サッカーに打ち込み、体を動かすことが今も大好きです。新しい職場で多くのことを学び、知識やスキルを一つ一つ身につけていけるよう努力してまいります。これからどうぞよろしくお願いいたします。

在校生制作のカルタで交流 「先輩と話せて安心」新入生

本校では、新入生が学校生活に早く慣れ親しめるよう、4月14日に新入生歓迎会を開催しました。会場は本校舎3階から5階の教室を使用し、在校生が企画・運営を担当しました。

当日は、在校生が工夫を凝らして制作したオリジナルカルタや、フルーツバスケットをアレンジした「あんしんバスケット」など、多彩なレクリエーションが行われました。教室には笑い声であふれ、和やかな雰囲気に包まれていました。



和やかな雰囲気の中、行われた新入生歓迎会

新入生からは「緊張が和らぎました」「先輩と話せて安心しました」といった声が聞かれ、親交を深める貴重な機会となったようです。在校生と新入生が交流を深めることで、これからの学校生活への期待も膨らんでいます。

学校法人 有坂中央学園 厚生労働大臣指定 美容師養成施設

TBM 高崎ビューティモード専門学校

〒370-0841 群馬県高崎市栄町13-1 TEL.027-310-2220(代) FAX.027-327-6344



www.chuo.ac.jp/tbm/

CHUO
中央カレッジグループ

華麗に美を演出、学生が8ステージ Live of Art 2025 ～ Soar ～



Dance Stage



Japanese Dress Stage

限界を超えて高く羽ばたく

ステージの幕が上がる瞬間、緊張した表情が一転、ライトを浴びて堂々と輝く学生たち。7月19日、エテルナ高崎で本校のヘアメイクファッションショー「Live of Art 2025 ～ Soar ～」が開催されました。今年のテーマ「Soar～舞い上がる～」の通り、学生一人一人が自分の限界を超え、高く羽ばたくようなステージとなりました。今や本校の夏の風物詩となったこのイベント。今年も多くの人場者を迎えて盛大に行われました。

ショーの成功に向け、1・2年生は手を取り合い、何度も打ち合わせや練習を重ねてきました。技術者、モデル、演出、運営と、それぞれが重要な役割を担います。本番で学生たちは最高の表現を追い求めて自分自身と向き合い、仲間と協力して一つの世界を創り上げました。

控室では緊張からか涙を流す姿も見られ、終演後には達成感に満ちた笑顔があふれていました。モデルを支えた施術者の学生たちも、この経験を通じ



Curt Stage



Make Stage

て「人を美しくする」ことの責任感やプロとしての自覚を抱いた様子でした。

メンズスタイルアップ 新たな選択科目に

本校は今年度、自由選択科目に新たに「メンズスタイルアップ」を導入しました。カット・パーマ・カラーはもちろん、メンズメイクやスーツの着こなし術まで網羅した充実の内容で、時代のニーズに応えるカリキュラムとなっています。



メンズのカラー実技を学ぶ学生たち

「自由に選択、なりたい将来、やりたいことを自分で決める」を授業コンセプトに、毎週水曜日の授業に自由選択制を採用。科目は実技から筆記まで幅広く、カット、ヘアカラー、着付け、アップスタイル、ネイル、メイク、エステ、ヨガ、マツエク、フォト、色彩学など多様にそろえています。学生は自分の興味や強み、将来像に合わせて授業を組み立てることができ、資格・検定取得に特化した内容も用意しています。

新設された「メンズスタイルアップ」では、トレンドを意識したメンズカット・パーマ・カラーに加え、メンズメイクやスーツの着こなしといった実用的な内容も学習可能です。さらには資格取得も視野に入れており、実践力を磨きながら多角的なスキル習得を目指せます。

今後も美容業界の動向を的確に捉え、新たな自由選択科目を順次導入していく方針です。



就職総決起大会で決意を示す学生たち

肉定勝ち取るぞ！高崎で就職総決起大会

4月21日、高崎シティギャラリーで「就職総決起大会」が開かれ、未来に向けて歩み出す学生たちの決意を後押しする、熱気あふれる一日となりました。

第1部は社会で活躍する卒業生の座談会。仕事に向き合う覚悟や、就職活動乗り越えた体験が披露され、学生たちは真剣な表情で耳を傾けていました。「自分もこうなりたい」という思いが、確かに学生一人一人の心に芽生えていく様子が見て

取れました。

第2部は竹内学校長の激励の後、各クラス代表が壇上に立ち、「早期就職内定100%達成」を目標に力強く決意表明。クラス全員の名前とスローガンが記されたのぼり旗と色紙を学校長に届けました。

担任の先生方からも真心こもったエールが送られました。壇上では、学生たちのまっすぐな眼差しと握りしめた拳が印象的でした。

ウルフカットの 有田氏が講演

高崎で就職ガイダンス

5月19日、エテルナ高崎で国際美容師、理容師、国際ビューティの3学科を対象に就職ガイダンス（株式会社トーコン主催）が開かれ、学生は将来の職業意識を高めました。

午前の部では、東京でいち早く「ウルフカット」を打ち出し、独自のカットとカラーデザインでSNS上でも話題



エテルナ高崎で開かれた就職ガイダンス

となり、15万人ものフォロワーを抱えるサロン「ALLY」代表の有田雄大さんが登壇。学生をモデルにウルフカットや近未来的なヘアメイクを披露しました。美容業界での仕事やヘアメイクアップアーティストになるまでの道のり、海外でのキャリア形成についても触れ、学生たちは熱心に耳を傾けてい

鉄の手入れ方法など学ぶ

東京理器社長が特別授業

6月12日、東京理器株式会社の松本州史社長による1年生対象の特別授業があり、理美容師の鉄、シザーズについて品質判断や適切な手入れの方法などを学びました。

美容師でもシザーズの適切な手入れ方法を理解している人は限られ、貴重な機会。授業ではシザーズ購入時の目利きの方法も盛り込まれました。シザーズのメンテナンスもあり、学生たちはメンテナンス後の違いに驚いていました。



シザーズの品質や手入れ法などを学んだ特別授業

ました。

午後の部では、2年生を中心に美容サロンやビューティ系の63企業が参加し、就職ガイダンスが行われました。学生たちは各企業のブースを訪れ、直接話を聞くことで就職活動への理解を深めていました。国際美容師学科の学生からは「就職先を決めるための情報や、サロンワーク以外にも活躍の場を広げられる話が参考になった」との声が聞かれ、国際ビューティ学科の学生も「ヘアメイクの仕事や専門的な話を聞けて良かった」と前向きな感想を寄せていました。

学校法人 有坂中央学園 国家資格 愛玩動物看護師 指定養成所・群馬サファリパーク職業教育連携校・北軽井沢地域職業教育連携校

CAN 中央動物看護専門学校

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1丁目43-27 TEL. 027-253-7211 FAX. 027-289-4005



www.chuo.ac.jp/can/

CHUO
中央カレッジグループ

BBQや動物との触れ合い

伊香保グリーン牧場で交流会

5月30日、伊香保グリーン牧場で学生交流会を開催し、動物飼育、動物看護、動物美容の全学年3学科86人が参加しました。学科や学年を超えてつな

がりを深める目的で実施。午前中は学科・学年混成の班に分かれてウォークラリーを行い、普段はあまり接点のない学生同士が連携してポイントを回りました。

牧場ではヤギやヒツジ、ウサギ、馬



学生交流会で動物と触れ合う学生

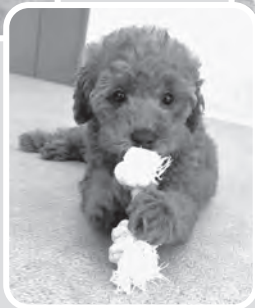
などさまざまな動物と触れ合いました。教室では得られない実体験は刺激的で、動物との接し方を改めて考える機会になったようです。ラリー終了後は牧羊犬によるシーブドッグショーを見学。牧場スタッフの解説を交えながら、羊を巧みに誘導する犬の姿に学生たちは目を輝かせていました。人と動物の信頼関係や、行動特性を生かした訓練技術など、各学科の学びに直結する内容に「とても勉強になった」「将来に役立ちそう」といった声が上がりました。

昼食は全員でバーベキューを楽しみました。食事をしながらの談笑は学生同士の距離をさらに縮め、学年や学科の垣根を超えて打ち解け合う笑顔が広がるひとときとなりました。交流会を通じて、多くの学生が「普段話せない人と話せてうれしかった」「他の学科のことも知れてよかった」と語り、新たな人間関係を築くきっかけになったようです。

楽しい雰囲気の中、行われた学生交流会

ファミリー動物に子犬たちが仲間入り

本校で飼育している「ファミリー動物」に新しい子犬が仲間入りしました。キャバリア・キング・チャールズ・スパニエルの「あんず」、トイ・プードルの「ワッフル」と「ナツメグ」、マルチーズの「おもち」の4匹。学生は飼育を通して、観察力やチームワークを養っています。みんなとてもかわいいので、ぜひ本校に会いにきてください！

女の子／トイ・プードル
ワッフル女の子／トイ・プードル
ナツメグ女の子／キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル
あんず女の子／マルチーズ
おもち

1年生のカット巧み 全国トリマー大会目指す

今年度、動物美容学科に入学した1年生たちは、初めて手にする鋏（はさみ）でも上手に扱いこなす学生が目立ちます。通常、道具に慣れ、犬のカットに進むまでには練習を要しますが、本校では入学から1カ月ほどで、体のバリカン処理や鋏による顔周りのカットに挑戦。通常2人1組で1頭の犬を仕上げる実習も、1人でこなす試練を課し、技術習得のスピードアップを図



鋏を使って犬の毛をカットする学生

っています。

そんな学生たちの次なる目標は、来年2月に京都で開催予定の全国選抜トリマー選手権大会です。日々の実習でカット技術を磨きながら、大会出場に向けて意欲的に取り組んでいます。

敷島公園で自然観察 ヘビを見つけ興味津々

動物飼育学科の2年生が7月2日、敷島公園で自然観察を行いました。エキゾチックアニマル学の授業の一環で、「両生類・爬虫類を3種類見つけること」を目標にスタート。強い日差しが照りつける中、学生たちは熱心に生き物を探しました。一人がアオダイショウを発見し、見事に捕獲。教員の解説を受けながら、実物を前に体の構造や特徴を学びました。野外でヘビを目にする機会がなかった学生も多く、興味津々の様子でした。

自然観察は身の周りの動植物や風景を見つめ、自然の仕組みや季節の変化を五感で感じ取る活動。特別な道具や



敷島公園で行われた自然観察の授業

専門知識がなくても、耳をすませ、目をこらすことで思いがけない発見があることを学生は実感したようです。公園の木にとまる鳥の動き、足元に咲く小さな花、姿を変える虫。身近な場所にも豊かな自然が広がっています。今回の観察を通じて、学生たちは「じっくり見ること」「気づくこと」の大切さを改めて学ぶ機会となりました。

3年生を対象に開かれた就職説明会



就職へ一歩前進 動物看護学科3年生が セミナーで意識改革

本校で5月9日と23日の2日間、動物看護学科3年生を対象とした就職説明会が開催されました。

9日には、動物にかかわる業界の就業支援や経営サポートなどを手掛ける株式会社TYL（東京都港区）を招き、求人や就職活動のサポートについてのセミナーが行われました。動物病院からの声も交えながら、実習中に心がけ

るべき行動や避けるべき行動について具体的なアドバイスがあり、学生たちは実習への意識を大きく変えるきっかけを得ました。さらに、セミナーでは県外の動物病院の求人情報も紹介され、その後、学生1人が内定を獲得する成果につながりました。

続く23日には、どうぶつウェルネスセンターアニクス（藤岡市）による企業説明会が実施されました。同センターの院長や看護師から病院の特徴や取り組みについて説明があり、学生たちは熱心に耳を傾けていました。説明会後には「実習に行かせていただけますか」と積極的に声をかける学生の姿も見られ、6月には1週間のインターンシップが実現、採用の可能性が出ています。

今回の説明会は、3年生にとって実習や就職活動への意識を高めるたいへん有意義な機会となりました。

厚生労働大臣指定 柔道整復師養成施設

CSM 中央スポーツ医療専門学校

〒371-0843 前橋市新前橋町21-16 TEL.027-253-1205 FAX.027-253-1230



www.chuo.ac.jp/csm/

CHUO
中央カレッジグループ

TDLで学ぶ「おもてなし」

1・2年生が国内研修

お客様の期待を
超えるサービス

「おもてなしの心」などを学んだ東京ディズニーランドの研修

1・2年生を対象とした国内研修旅行が6月11日、東京ディズニーランドで実施されました。今回の研修旅行は観光を目的としたものではなく、「学び」を主眼に置いた取り組みとして行われました。

学生たちは、ディズニーランドのキャスト（スタッフ）の対応や、アトラクションの導線、施設全体の快適さについて観察を重ねました。特に印象的だったのは、キャストが見せる「お客様の期待を超えるサービス」です。単に丁寧な接客をするのではなく、常に相手の立場に立ち、自ら積極的に行動

する姿勢は、サービス業の奥深さを感じさせました。

また、学生たちは友人とアトラクションを楽しみながらも、時間を守り、協力して行動する大切さを体感しました。こうした体験を通して、東京ディズニーランドという一見「遊び」の場が、多くの人の努力と工夫、そして高いプロ意識によって支えられていることを改めて学びました。

楽しさの中に多くの気づきと学びが詰まった今回の研修旅行は、学生たちにとってたいへん有意義な経験となりました。

在校生インタビュー

大塚 斗湧さん

(3年、
桐生工業高校出身)

痛みの原因、全身で診たい

▽柔道整復師を目指したきっかけ

小さいころからサッカーをやっている高校生の時に腰椎分離症を経験。リハビリや治療をしてもらっていた中で、自分もこのような仕事に就き、選手たちのサポートをしていきたいと思いました。

▽本校を選んだ理由

オープンキャンパスに参加した際、ほかの学校と比べ先生と学生との距離感が近く、明るく楽しく学べそうだと感じたからです。

▽学校生活で楽しいこと

クラスの人数が少ない中で友達と勉強していくことです。グループでのイベントも豊富で楽しいです。

▽どんな柔道整復師になりたいか

痛みの原因を全身で診られるようになり、スポーツ外傷に強い柔道整復師になりたいです。

關 陽歩さん

(2年、
前橋西高校出身)

クラスみんなが同じ目標

▽柔道整復師を目指したきっかけ

中高生時代、ソフトボールを通してさまざまな体の不調に悩まされ、苦しいリハビリの中で寄り添い、大会に間に合うように指導してくれた柔道整復師の先生に憧れたからです。

▽本校を選んだ理由

女性の先生が多く、安心して通えることや、先生たちの明るい雰囲気も気に入りました。

▽学校生活で楽しいこと

クラスが同じ目標に向かい、励まし合いながら学ぶところ。行事面では、グループの他校と交流でき、普段とは違う楽しさがあります。

▽どんな柔道整復師になりたいか

患者さん一人一人に寄り添い、頼られる存在、痛みや悩みを抱えてくる患者さんに元気を与えられる存在になりたいです。

就職ガイダンスに9社
最新技術など紹介

6月30日に本校で就職ガイダンスを開き、県外企業を中心に関東近県などで事業展開している9社が参加しました。対象は2・3年生の37人で、各社（接骨院）が日ごろ実施している施術を実際に体験しながら、その違いを肌で感じ取ることができたようです。

体験した治療は多岐にわたり、最新の電気治療器を用いた物理療法や各院独自の手技療法、テーピングによる固定法などが紹介されました。今春本校を卒業し就職した先輩2人も参加し、成長した姿を見せてくれました。学生たちは、ついこの間まで共に学んでい



9社が参加した就職ガイダンス

た先輩が柔道整復師として活躍している様子を見て、刺激を受けたようです。柔道整復師の活躍の場は接骨院や整形外科、介護施設、スポーツトレーナーなど幅広い分野に及びます。

今後も「自分が何をしたいのか」を明確にできるよう、学生が未来を描ける取り組みを続けていきたいと考えています。

新 任 職 員 紹 介

平井 亮輔さん

(教務課)

柔道整復師の
素晴らしさ伝える

運動が大好きで、学生時代に打ち込んだスポーツをきっかけに、人のけがを治す柔道整復師になり、接骨院、整形外科、総合病院、救急指定、介護施設などで学んできました。患者さんから感謝される素晴らしい仕事です。この素晴らしさを学生に伝え、柔道整復師の国家試験合格に向かっていけるように頑張りたいです。

前川 和人さん

(教務課)

社会に貢献できる
存在に

柔道整復師として複数の接骨院で患者さんを診てきた経験を生かし、学生

たちが社会に出たときに役立つよう現場的な知識も伝えていけたらと考えております。私自身も知識・技術を高めることを忘れず日々努力していきます。将来は地域や社会に貢献できる存在になることが目標です。至らぬことも多いと思いますがどうぞよろしくお願いします。

北澤 和貴さん

(教務課)

学生一人一人に
寄り添う

サッカーでのけがを治してもらった経験から柔道整復師になり、整形外科で4年、リハビリや運動療法を学び、その後の接骨院勤務では外傷治療の研鑽を積みつつ、柔道整復師養成校の非常勤講師を務めました。学生のころ、勉強に苦労した際、仲間や先生の支えで乗り越えました。だからこそ学生一人一人に寄り添い柔道整復師の国家試験合格に向かって全力でサポートしていきたいと思っています。

学校法人 有坂中央学園 高等学校卒業と専門知識・技能の取得

CHS 中央高等専修学校

前橋・〒371-0842 群馬県前橋市下石倉町31-20 TEL.027-253-5596(代) FAX.027-280-5270

クラーク記念国際高等学校連携校

<https://www.chuo.ac.jp/chs/>CHUO
中央カレッジグループ

63人が新たな1歩

晴れやかな雰囲気の中で進められた入学式



4月12日、群馬県公社総合ビル多目的ホールで、令和7年度入学式が行われ、63人が入学しました。会場には、新入生とその保護者、来賓、教職員が集い、晴れやかな雰囲気の中で式典が進められました。

式は北爪喜久雄学校長の温かい式辞から始まり、続いて前橋市の小川晶市長、吉川真由美教育長から、新入生へ

晴れやかに入学式

の期待と励ましの気持ちで込められた祝辞が贈られました。

在校生代表からは「共に学び、共に成長していきましょう」との歓迎の言葉が送られ、新入生代表による誓いの言葉では、新しい学校生活への意気込みと感謝の思いが力強く語られました。

未来への希望にあふれる新入生たちの姿は、会場に集ったすべての人々に大きな感動を与え、これからの学校生活に向けた期待と喜びで満ちた一日となりました。

カレー作り学年超え交流

赤城で新入生歓迎会

新入生歓迎会が4月25日、前橋市の国立赤城青少年交流の家で開催されました。自然豊かな環境の中、生徒たちはカレー作りに挑戦し、学年の枠を超えた交流の場として大いに盛り上がりました。

午前中、会場は濃い霧に包まれ、幻想的な風景の中での準備作業となりました。薪を用意して火をおこし、鍋を火にかける様子は、日常では味わえない特別な体験です。慣れない手つきながらも、生徒たちは協力し合い、材料を切り、火加減を調整しながら各班で個性あふれるカレーを完成させていきました。

昼ごろには霧も晴れ、青空が広がりました。全員で青空の下に集まり、手作りのカレーを味わうひとときには笑顔と会話が絶えず、生徒たちの絆が深まった様子が見られました。

新入生の一人は「最初は緊張していましたが、カレー作りを通じて自然に話せるようになりました」と語り、在



薪で火を起こし、カレー作りを楽しむ生徒たち

校生からも「後輩と一緒に活動するのは新鮮で、よい刺激になりました」との声が聞かれました。この歓迎会は、学校全体が一つになり新たな仲間を迎える貴重な機会となりました。晴れ渡る空の下で味わった手作りカレーと温かな交流は、新入生にとっても忘れない思い出になったことでしょう。

全校参加で球技大会

3年生が2種目優勝

本校恒例の球技大会が7月15日、ヤマト市民体育館前橋で開かれ、全校生徒がバレーボールとソフトバレーボールの2種目で熱戦を繰り広げました。

体育の授業を通して、各チームが日々練習に励んできた成果を存分に発

修学旅行in沖縄



平和祈念公園では戦争の愚かさを学びました

平和と文化を学んだ3泊4日

本校の3年生は、6月10日から13日までの4日間、沖縄修学旅行を実施しました。今回の旅の目的は「沖縄の文化と平和について学ぶ」。生徒たちは自然や歴史、そして今を生きる沖縄の人々の思いに触れ、多くのことを感じ取る貴重な体験をしました。

初日はカヌチャリゾートに到着し、プールでリラックスした時間を過ごしました。南国ならではの穏やかな風が吹く中、友人たちと笑顔を交わしながら水遊びを楽しむ姿が見られ、旅のスタートを華やかに彩りました。2日目は美ら海水族館を訪れ、特にジンベエザメの圧倒的な大きさに生徒たちは驚き、沖縄の海が持つ神秘や多様な生態系への興味を深める一日となりました。

3日目はひめゆりの塔と平和祈念資料館を見学し、戦争の悲惨さを伝える展示や語り部の話を通して「命

の尊さ」と「平和の大切さ」に深く心を動かされました。その後訪れた国際通りでは、明るく賑やかな街並みの中に息づく沖縄独自の文化や伝統を感じ取りました。

最終日は首里城を見学し、琉球王国時代の壮麗な建築美に触れました。朱塗りの建物や石畳の道は、沖縄が育んできた歴史と文化の奥深さを今に伝えていました。

旅を終えた多くの生徒たちは「戦争は絶対にしてはいけない」と口にし、平和は当たり前のもではなく、多くの人の努力や思いによって守られていることに気づきました。この気持ちを忘れず、日々の生活の中で感謝の心を大切にしていきたいと語っています。この修学旅行は、生徒たちにとって学びと感動に満ちた4日間となり、これからの人生においても大切な財産となることでしょう。



熱戦を展開する生徒たち

揮する機会となり、生徒たちは真剣な表情で試合に臨みました。どの試合も接戦が多く、会場は大いに盛り上がりしました。

インター
アクト
クラブ活動

公園で種まきや池の清掃

年次大会では森さんが発表

地域で奉仕活動に励む本校のインターアクトクラブは6月18日、前橋公園でヒマワリの種まき、ビオトープ池の清掃、外来生物の駆除などを行いました。池の清掃は水を抜いて本格的に作業、生徒たちは泥だらけになりながら、自然との関わりを実感している様子でした。

7月16日にはヒマワリの芽吹きの観察やホタルの餌となるカワニナの管理、前橋公園に隣接する臨江閣の除草も行い、地域の景観保全に貢献しました。

また7月19日は、県内のインターアクトクラブ16校が一堂に会する「インターアクト年次大会」が昌賢学園まえばしホールで開かれ、本校からは会長の2年・森菜花子（もり・ななこ）さんが登壇。前橋公園グリ



クラブの活動を発表する森さん

ープロジェクトのほか、特別養護老人ホームでの門松作りや慰問活動



池を清掃するインターアクトクラブの生徒たち

など、本校ならではの地域に根ざした取り組みを発表しました。



Super Kids English Studio
中央外語学院

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1丁目49-3 TEL.027-256-7200 FAX.027-256-7201



www.chuo-gaigo.com

CHUO
中央カレッジグループ

英語村で Summer Day Camp

子どもたち177人が 楽しく英語と アクティビティ体験

中央外語学院恒例のサマーデイキャンプが、7月末から8月上旬にかけて、前橋市嶺町の「CHUO Global Village - 英語村 -」で開催され、英語を通して楽しい夏の思い出をつくりました。

今年のサマーデイキャンプには、「Summer Adventures Start with Hello!」をテーマに、園児から小学生まで、合計177人の子どもたちが参加しました。

同キャンプでは、外国人講師と一緒に、まるで海外旅行に行ったような気分、英語でクラフト、スポーツ、科学実験、クッキングなどのアクティビティを体験しました。

宝探しゲーム「SCAVENGER HUNT」



では、英語のヒントを頼りに宝物を探し出し、大興奮。的当てゲーム「Bucket Flip」では、みんなでのめを目標けてボールを投げて、バケツいっぱいの紙吹雪を浴びて大騒ぎしました。

参加した子どもたちは皆、英語に触れながら、笑顔いっぱいの充実した一日を過ごしていました。



英語村のサマーデイキャンプで
さまざまなアクティビティを楽し
む子どもたち



資格の学校 TAC 群馬校



お申し込みお問い合わせは資格の学校TAC

〒371-0805 群馬県前橋市南町3-14-1 TEL 027-226-1823 FAX 027-243-5300

本気で合格目指そう

TACが選ばれる理由

圧倒的な合格実績

合格実績が高く、講義の満足度も9割以上の高評価。講師陣は本試験傾向を分析し、短期合格に必要なものは何かを常に追求しています。熱意あふれる講義ときめ細やかな指導で合格に導きます。

傾向踏まえたオリジナル教材

教材は毎年の試験傾向を分析し、内容を凝縮したオリジナル教材です。試験に必要な知識と実践力をバランスよく養う、無理、無駄のないカリキュラムで、最短距離で合格を目指せます。

合格直結の学習環境

全国22拠点で展開する「教室講座」、オンライン「Web通信」講座に加え、どこからでも生講義に参加できる「オ

ンラインライブ通信」を用意。質問などにお答えする学習サポートも充実で安心して合格を目指せます。

TAC群馬校取り扱い講座

【会計・経営・労務関係】

公認会計士・税理士・簿記検定・社会保険労務士・建設業経理士・中小企業診断士・FP・証券アナリスト

【法律・公務員関係】

行政書士・ビジネス実務法務検定公務員（地方上級・国家一般職）理系公務員（技術職）警察官・消防官

【不動産関係】

不動産鑑定士・宅地建物取引士マンション管理士・管理業務主任者

【情報処理・パソコン関係】

ITパスポート・基本情報技術者

2026年度合格目指して 公務員対策講座が順次開講

本校では、2026年度合格目標の公務員試験対策を順次開講しています。就職先として一番の人気の公務員。民間就職を意識しながらも公務員受験を併願する学生が増えています。群馬校では県内各大学向けにカスタマイズして、大学独自のオリジナル公務員講座を展開。5月開講の高崎経済大学を中心に県立女子大学や新島学園短期大学などでも順次開講中（予定）です。高崎経済大学では170人が受講しており、国家・地方公務員を目指して学習。県立女子大学でも公務員採用試験の最重要科目である「数的処理講座」を、新島学園短期大学では夏休み期間に集中講座を展開。本校は一人でも多くの方が最終合格を手にするよう、寄り添いながらサポートしていきます。

人気の公務員ガイダンス

県内の短大・大学において、公務員ガイダンスを実施しています。1年生から3年生を中心に公務員の種類や試験制度、合格に向けての学習方法や情報収集の仕方など最新情報をお届けしています。高崎経済大学では、240人の参加者、県立女子大学でも70人の参加者と、公務員は高い人気を示してい

ます。本校ではご要望に応じて、積極的に公務員ガイダンスを行っております。また、個別でも常時相談を承っています。お気軽にTAC群馬校まで、お問い合わせください。

9月に社労士ガイダンス

9月7日（日）に社会保険労務士のガイダンス・セミナーを開催します。社労士試験に合格するための秘訣や学習スケジュールの立て方、時間管理の重要性や制度の理解の必要性など具体的に専任講師より説明します。本校では、9月28日（日）から2026年度試験合格を目指して教室講座「総合本科生」がスタートします。初めて社労士を勉強される方や、受験経験者の方など臨場感ある教室講座に是非、ご参加ください。社労士人気はまだまだ続きます。私達スタッフも講師と一緒に皆さんの合格に向けて、最後まで応援をし続けていきます。

お得な講座キャンペーン

TAC群馬校割
対象：全講座（通学・通信）
期間：随時
・通常受講料から5%割引
・入会金10,000円を免除